

4. 教職課程

4.1 教職課程の概要

4.1.1 沿革

平成 10 年（1998）の開学当初、教職課程を開設しておらず、地域等の強い要望もあり、平成 20 年度から教職課程設置に向けて学内で検討を重ねてきた。翌平成 21 年 7 月文部科学省に、バイオ・マテリアル学科に高等学校教諭一種免許状（理科）、光システム学科に中学校教諭一種免許状（数学）、高等学校教諭一種免許状（数学・情報）、グローバルシステムデザイン学科に中学校教諭一種免許状（数学）、高等学校教諭一種免許状（数学・情報）の課程認定の申請を行い、平成 22 年 1 月 25 日文部科学大臣より認可され、平成 22 年 4 月入学者より教職課程の履修が可能となった。また、平成 27（2015）年 3 月には、平成 28（2016）年 4 月の理工学部情報システム工学科開設に伴い、同学科にて中学校教諭一種免許状（数学）、高等学校教諭一種免許状（数学・情報）の取得を可能とすべく文部科学省へ課程認定申請を行い、平成 27（2015）年 11 月に認可された。その際、理工学部応用化学生物学科において中学校教諭一種免許状（理科）の取得に係る課程の開設についても課程認定申請を行い認可された。

4.1.2 取得可能免許状

本学で取得可能な教育職員免許状は次のとおりです。（平成 27（2015）年 4 月 1 日現在）

学部学科	取得可能な免許状
理工学部応用化学生物学科	高等学校教諭一種免許状（理科）
理工学部電子光工学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（情報）
理工学部グローバルシステムデザイン学科	中学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（数学） 高等学校教諭一種免許状（情報）

※平成 27 年 4 月 総合光科学部バイオ・マテリアル学科を理工学部応用化学生物学科へ
総合光科学部光システム学科を理工学部電子光工学科へ、総合光科学部グローバルシステムデザイン学科を理工学部グローバルシステムデザイン学科へ学部・学科名称の変更をおこなった。

4. 教職課程

4.1.3 教職課程履修者数

平成 22 年度から平成 27 年度までの各学年の教職課程登録者数です。

※各年次基準日は 4 月 1 日

	1 年次	2 年次			3 年次			4 年次			科目等 履修
	—	応用化学生物	電子光工	グローバル	バイオ	光システム	グローバル	バイオ	光システム	グローバル	
平成 22(2010)年度入学者	25	8	6	5	7	4	3	7	2	3	1
平成 23(2011)年度入学者	34	12	8	11	11	7	9	9	5	7	1
平成 24(2012)年度入学者	13	1	3	8	1	3	8	1	2	5	1
平成 25(2013)年度入学者	15	8	4	1	6	3	0	—	—	—	2
平成 26(2014)年度入学者	18	5	5	5	—	—	—	—	—	—	1
平成 27(2015)年度入学者	28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2

4.1.4 免許状取得者数

教育職員免許状は北海道教育委員会に代わり、学位記授与式当日学長より交付されます。平成 25 年度卒業生より免許状が授与されており、平成 25 年度から平成 27 年度に授与された免許状の種類及び人数は次のとおりです。

卒業年度	所属学科	免許取得者				
		高一種 (理科)	中一種 (数学)	高一種 (数学)	高一種 (情報)	合計(人) ※延べ数
平成 25 年度卒業生	バイオ・マテリアル学科	6	—	—	—	6
	光システム学科	—	1	2	—	3
	グローバルシステムデザイン学科	—	—	3	2	5
	科目等履修生	—	—	—	—	—
	合 計	6	1	5	2	14
平成 26 年度卒業生	バイオ・マテリアル学科	9	—	—	—	9
	光システム学科	—	3	4	1	8
	グローバルシステムデザイン学科	—	6	7	3	16
	科目等履修生	—	—	—	—	—
	合 計	9	9	11	4	33
平成 27 年度卒業生	バイオ・マテリアル学科	1	—	—	—	1
	光システム学科	—	1	1	—	2
	グローバルシステムデザイン学科	—	5	5	4	14
	科目等履修生	—	—	—	—	—
	合 計	1	6	6	4	17

4. 教職課程

4.1.5 教員組織・指導体制

教員組織・指導体制は次のとおりです。

教職課程に係る教員数

教科に関する科目	学部・学科等		免許状の種類	専任教員数	兼任	兼任	
	総合光科学部	バイオ・マテリアル学科		高一種免（理科）	4人（0人）	4人（0人）	1人（1人）
光システム学科			中一種免（数学）	5人（0人）	5人（2人）	2人（0人）	
		高一種免（数学）	5人（0人）	5人（2人）	2人（0人）		
		高一種免（情報）	4人（0人）	8人（0人）	0人（0人）		
グローバルシステムデザイン学科		中一種免（数学）	6人（0人）	5人（2人）	2人（0人）		
		高一種免（数学）	6人（0人）	5人（2人）	2人（0人）		
	高一種免（情報）	5人（0人）	5人（1人）	0人（0人）			
教職に関する科目	平成26年度現在						
	中学校・高等学校教諭の教職課程	専任教員	青塚健一教授	教職概論 教育課程論 特別活動指導論 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）			
			今井順一准教授	数学科教育法Ⅰ 数学科教育法Ⅱ 数学科教育法Ⅲ 数学科教育法Ⅳ 教育実習事前事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習（中・高）			
			計	2人（2人）			
			兼任	1人（0人）	兼任	7人（2人）	

※教員数の（ ）は、教職経験者（幼・小・中・高等の教員等経験者）の数を記載しています。

4.1.6 教員就職者数

平成 26 年 3 月に教職課程 1 期生が卒業し、次のとおり教育職員として採用されました。

卒業年度	採用区分	学校名	学校区分	教科	人数
平成 25 年度	正規採用	北海道釧路明輝高等学校	公立	数学	1
		旭川実業高等学校	私立	数学	1
	期限付採用	北海道札幌平岸高等学校	公立	理科	1
		北海道札幌清田高等学校	公立	数学	1
平成 26 年度	正規採用	小樽明峰高等学校	私立	数学	1
	期限付採用	北海道札幌藻岩高等学校	公立	数学	1
		北海道札幌開成高等学校	公立	理科	1
		岩見沢高等養護学校	公立	数学	1
		苫小牧市立勇払中学校	公立	数学	1
平成 27 年度	期限付採用	北海道興部高等学校	公立	数学	1
		北海道浦河高等学校	公立	数学	1
		北海道札幌藻岩高等学校	公立	数学	1
		北海道稚内高等学校	公立	数学	1
		札幌市立札幌常盤中学校	公立	数学	1

4.2 教員養成の理念

4.2.1 大学としての教員養成に対する理念

本学は、「自ら成長する教員」の養成を行う。

学校法人千歳科学技術大学は、光科学技術に重点をおいた教育研究を目指す科学技術大学として、平成 10 年 4 月に 1 学部 2 学科より成る千歳科学技術大学を開設しました。本学は、「人知還流」「人格陶冶」の建学精神の下に、大学の成果を実社会に還元し、知識と人材のダイナミックな循環を形成すること及び主体的・創造性及び人間性に溢れる人材育成に力を注いできました。平成 20 年には、総合的な光関連技術分野の教育研究による幅広い職業人の育成を目指し、3 学科より成る総合光科学部へと改組しました。本学は、「人格陶冶」の建学精神の下に、社会から求められる人材の育成に努力してきました。本学が力を注いでいる e ラーニング教材の開発や理科教材の開発においては、学生が中心となってシステムやコンテンツなどの開発・制作を進めており、それを通じて授業で「ICT 活用」ができる教員の養成を行うことができ、さらに学生が地域の初等中等教育の現場と連携する機会を体験することを通じ、人としての総合力向上に努めてきました。また本学では、実験などで高学年の学生をティーチングアシスタント (TA) として採用し、きめ細かな教育を行っておりますが、学生は年次の低い学生を教えることにより自らも啓発され、自ら学ぶ姿勢を高めるなど、TA 活動を通じた教育効果もあがっています。これらの成果をふまえ、

「自ら成長する教員」の育成は、「人格陶冶」の建学精神に合致するものと考えてに至りました。他方本学の e ラーニング教材開発は、地域の中学校・高等学校と共同して行ってきました。この取り組みでは、中学校・高等学校教員の教育経験（知）を、大学の持つ技術（知）と組み合わせ、出来上がった e ラーニング教材（果実）を、地域連携・高大連携等を通して中学校・高等学校に還流させています。さらに「人知還流」の建学精神を具現化するため「人」の還流の一環である「教員」の育成をより強化すべく「人知還流」「人格陶冶」の建学精神の下、「自ら成長する教員」の養成を更に充実させることとしました。

4.2.2 応用化学生物（旧バイオ・マテリアル）学科教員養成に対する理念

応用化学生物学科は、「材料科学からバイオ科学、更にはメディカルまでの幅広い教養を有する自ら成長する高等学校理科教員」の養成を行います。

応用化学生物学科は、わが国の産業社会の求めるところである光・電子材料分野とバイオ・メディカル分野に集約、強化し、国際社会においてわが国の光、電子産業の更なる発展と、高度な展開を実現するための基幹となる技術者の養成を行うことを目的として設立されました。

応用化学生物学科の教育研究は、「物理学」「化学」「生物学」「地学」と「理科」の分野とほぼ一致しており、本学で推進している理科教材の開発プロジェクトなどを通して、理科教育へ関心を持つ学生も多くいます。また応用化学生物学科の学生、特に専任教員研究室に配属された高年次学生は、学科で開講されている実験・実習授業の TA として雇用されており、多くは自己啓発され自ら学ぶ姿勢を高めています。この状況に鑑み本学は、「人知還流」「人格陶冶」の建学精神の下に、材料科学からバイオ科学さらにはメディカルまでの幅広い教養を有する「自ら成長する教員を養成」するため、応用化学生物学科に高等学校教諭一種免許状（理科）の課程を置くことを決定しました。

4.2.3 電子光工（旧光システム）学科教員養成に対する理念

電子光工学科は、「現代の先端的な“ものづくり”を理解した、自ら成長する数学科・情報科教員」の養成を行います。

電子光工学科は、来たるユビキタスネットワーク社会の実現に貢献するハードウェアを主とする基盤技術を集約して教育研究を行うこととし、光テクノロジーを主軸として、電子デバイス、通信技術、ロボットおよびそれらに必要なソフトウェア技術をバランスよく学び、科学技術の展開に対応していける素養を有する人材の育成を目的に設立されました。その教育内容は、オプトエレクトロニクス技術関連から通信ロボティクス技術関連の2分野の枠組みを柱に捉え幅広い応用力の養成を目指しています。どちらも基となる理論体系は「代数学」「解析学」「確率論・統計学」の数学を基盤としています。数学をベースとした理論、およびその応用に及んでいます。これに光テクノロジーを軸とした横断的な学問・技術領域とシステム化技術を融合して教授できる一貫性のある教育と研究により、専門的知識を備えつつ 21 世紀を支える幅広い知識と応用力を備えた職業人の育成を行っています。

4.2.4 グローバルシステムデザイン学科教員養成に対する理念

グローバルシステムデザイン学科は、「人間主体の技術開発を理解した自ら成長する数学科・情報科教員」の養成を行います。

グローバルシステムデザイン学科は、感性工学・人間工学・環境技術などの知見を取り入れ、その共通の基盤に立って情報技術（ソフト）と光電子技術（ハード）を総合システムとして設計し、科学技術の社会への応用を実践的に教育することを目指し、ユーザである人間主体の技術開発を真に行えるグローバルな人材の育成を目的として、平成20年に設立されました。ユーザビリティ、システム化技術、ICT、ソフトウェア工学、メディア工学等の教育を行うとともに、特色ある教育プログラムとして、情報メディアシステム系及び人間科学・総合システム技術系を一体としてグループ単位で進めるプロジェクト教育を学科の柱として、企業で求められるユーザビリティを重視したシステム構築やプロジェクトマネジメントなどを総合視点で行える技術者の育成を目指しています。

4.3 教職課程カリキュラム

4.3.1 教職に関する科目

教職に関する科目（全ての免許に共通）＊一部教科により選択

科目	本学該当科目	単位数		開講 年次	担当教員 (非常勤講師含)
		必修	選択		
教職の意義に関する科目	教職概論	2		1	青塚
教育の基礎理論に関する 科目	教育学	2		1	鈴木（剛）
	教育心理学	2		2	瀧本
	教育行政学	2		3	岡田
教育課程及び指導法に関 する科目	教育課程論	2		2	青塚
	*理科教育法Ⅰ	2		3	青塚
	*理科教育法Ⅱ	2		3	青塚
	*数学科教育法Ⅰ	2		3	今井
	*数学科教育法Ⅱ	2		3	今井
	数学科教育法Ⅲ		2	4	今井
	数学科教育法Ⅳ		2	4	今井
	*情報科教育法Ⅰ	2		3	小松川
	*情報科教育法Ⅱ	2		3	小松川
	*道徳教育指導論	2		2	鈴木（剛）
	特別活動指導論	2		2	青塚
教育方法論	2		2	浦田	
生徒指導論，教育相談及び 進路指導等に関する科目	生徒指導論(進路指導含む)	2		2	浦田
	教育相談	2		3	佐藤（洋）
教育実習	教育実習事前事後指導	1		3・4	青塚・今井
	*教育実習Ⅰ（中学必修）	4		4	青塚・今井
	*教育実習Ⅱ(高校のみ必修)	2		4	青塚・今井
教職実践演習	教育実践演習（中・高）	2		4	青塚・今井

科目名の前に「＊」がついている科目は，取得しようとする免許教科により修得方法が異なる。

4.3.2 教科に関する科目

＜応用化学生物（旧バイオ・マテリアル）学科＞ 高等学校教諭一種免許状 理科

免許法施行規則に定める 科目及び最低修得単位数	本学該当科目	単位数		開講 年次	担当教員 ※非常勤講師
		必修	選択		
物理学	力学	2		1	福田
	電磁気学	2		2	石田（宏）
	総合科学B 2	1.5		1	長谷川
	量子科学入門	2		2	川辺
	総合科学A 2	1.5		1	山中
	オプティクス		2	2	川辺
化学	総合科学B 1	1.5		1	谷尾
	マテリアル科学A	2		2	谷尾
	生化学	2		2	Karthus
	化学		2	1	谷尾
	マテリアル科学B		2	2	平井
生物学	生物学概論	2		1	坂井
	生物学基礎A	2		2	坂井
	光生物学		2	2	下村
地学	地学概論 1	2		2	鈴木（正）
	地学概論 2		2	2	鈴木（正）
「物理学実験（コンピュータ活用含む。）、化学実験（コンピュータ活用含む。）、生物学実験（コンピュータ活用含む。）、地学実験（コンピュータ活用含む。）」	光サイエンス実験A	2		2	李，梅村，坂井， 高田，河野
	光サイエンス実験B		2	2	谷尾，梅村， Karthus
開講科目の総単位数		22.5	12		

4. 教職課程

＜電子光工（旧光システム）学科＞中学校教諭一種免許状 数学，高等学校教諭一種免許状 数学

免許法施行規則に定める 科目及び最低修得単位数	本学該当科目	単位数		開講 年次	担当教員
		必修	選択		
代数学	システム数学	2		2	唐澤
	システム数学演習		1	2	唐澤
幾何学	幾何学概論	2		3	今井（順）
	幾何学 I		2	3	行木
	幾何学 I 演習		1	3	今井（順），行野
解析学	数学 1	2		1	今井（順）・安田
	数学 1 演習	1		1	今井（順）・安田
	数学 2	2		1	唐澤・安田
	数学 2 演習	1		1	唐澤・安田
	フーリエ解析	2		2	山中
	フーリエ応用	2		2	山中
	フーリエ演習		1	2	張
	制御工学概論	2		2	川瀬
	システム制御論		2	3	小田（尚）
「確率論，統計学」	システム統計	2		2	江口
	統計解析		2		小林（大）
コンピュータ	情報技術概論	2		1	小松川・林
	コンピュータシステム概論	2		2	小田（尚）
	数値計算概論	2		2	山中・行木
	シミュレーション工学		2	3	江口
	開講科目の総単位数	24	11		

4. 教職課程

＜電子光工（旧光システム）学科＞ 高等学校教諭一種免許状 情報

免許法施行規則に定める 科目及び最低修得単位数	本学該当科目	単位数		開講 年次	担当教員
		必修	選択		
情報社会及び情報倫理	ロボティクス	2		3	小田（尚）
	企業リテラシ		2	3	長谷川
コンピュータ及び情報処理（実習含む。）	コンピュータプログラミング 1	2		2	小田（久）
	コンピュータプログラミング 2	2		2	青木
	コンピュータアプリケーション	2		3	佐々木, 小田（久）
	デジタル信号処理	2		3	川瀬
	マイクロコンピュータ実習		2	3	小田（久）
情報システム（実習含む。）	デジタル回路	2		2	江口
	ロボットビジョン		2	3	小田（尚）
	情報システム開発論		2	3	小松川
情報通信ネットワーク（実習含む。）	コンピュータネットワーク	2		2	深町
	ユビキタスネットワーク概論	2		2	川瀬
	通信・ロボティクス実験 1		2	3	※福田
	通信・ロボティクス実験 2		2	3	※小田（尚）
	光ファイバシステム		2	3	小林（壮）
マルチメディア表現及び技術（実習含む。）	インフォマティクス基礎	2		1	石田（雪）
	Web アプリケーション開発		2	3	小松川, 山川
情報と職業	人間情報科学	2		1	小林（大）, 曾我
	教育とコンピュータ		2	3	今井（順）
	開講科目の総単位数	20	18		

※は代表教員

4. 教職課程

＜グローバルシステムデザイン学科＞中学校教諭一種免許状 数学，高等学校教諭一種免許状 数学

免許法施行規則に定める 科目及び最低修得単位数	本学該当科目	単位数		開講 年次	担当教員
		必修	選択		
代数学	システムデザイン数理	2		2	唐澤
	システム数学演習		1	2	唐澤
幾何学	幾何学概論	2		3	今井（順）
	幾何学 I		2	3	行木
	幾何学 I 演習		1	3	今井（順），行野
解析学	数学 1	2		1	今井（順）・安田
	数学 1 演習	1		1	今井（順）・安田
	数学 2	2		1	唐澤・安田
	数学 2 演習	1		1	唐澤・安田
	フーリエ応用	2		3	山中
	フーリエ演習		1	3	張
	デジタル数学		2	2	山林
	制御工学概論		2	3	川瀬
「確率論，統計学」	システム制御論		2	3	小田（尚）
	情報システム数理	2		2	小林（大）
コンピュータ	統計解析	2		3	小林（大）
	情報技術概論	2		1	小松川・林
	コンピュータシステム概論	2		2	小田（尚）
	数値計算概論		2	2	山中・行木
	シミュレーション工学		2	3	江口
	開講科目の総単位数	20	15		

4. 教職課程

＜グローバルシステムデザイン学科＞ 高等学校教諭一種免許状 情報

免許法施行規則に定める 科目及び最低修得単位数	本学該当科目	単位数		開講 年次	担当教員
		必修	選択		
情報社会及び情報倫理	ヒューマンファクターズ	2		2	小林（大） 長谷川
	企業リテラシ	2		3	
コンピュータ及び情報処理（実習含む。）	プログラミングスキル	2		2	深町・林 小松川・林
	プロジェクト指向プログラミング	2		3	
	オペレーティングシステム		2	3	深町
	知能化技法		2	3	小松川
情報システム（実習含む。）	アルゴリズムとデータ構造	2		3	小松川
	情報システム開発論		2	3	小松川
	情報キャリアデザイン		2	2	小松川
	デジタル回路		2	2	江口
情報通信ネットワーク（実習含む。）	コンピュータネットワーク	2		2	深町
	ユビキタスネットワーク概論		2	3	川瀬
	通信システム		2	3	山林・吉田
	光ファイバシステム		2	2	小林（壮）
マルチメディア表現及び技術（実習含む。）	システムデザインプロジェクトA	2		2	※長谷川
	インフォマティクス基礎	2		1	石田（雪）
	webアプリケーション開発		2	3	小松川，山川
情報と職業	人間情報科学	2		1	小林（大）・曾我 今井（順）
	教育とコンピュータ	2		3	
開講科目の総単位数		20	18		

※は代表教員

4.3.3 教育職員免許法 66 条の 6 に定める科目

＜教育職員免許法 66 条の 6 に定める科目＞ ※各免許に共通

免許法施行規則に定める 科目区分	左記に対応する本学開講 科目	単位数		開講 年次	担当教員
		必修	選択		
日本国憲法	日本国憲法	2		1	岩本
体育	体育実技 1	1		1	亀井、今野
	体育実技 2	1		1	亀井、今野
外国語コミュニケーション	ベーシックイングリッシュ 1	1		1	小川、金井
情報機器の操作	情報メディア実習	1		1	※曾我

※は代表教員

4.4 教育実習

4.4.1 教育実習先・教科・人数

本学では4年次に教育実習を行っています。2年次に予備調査を行い、3年次春には教育実習を希望する中学校、高等学校へ連絡し、翌年の教育実習受け入れ予約をします。平成25年度、26年度、27年度に実習校としてお世話になった学校は次のとおりです。

年度	実習校	教科	実習期間	人数
平成 25 年 度	北海道札幌藻岩高等学校	数学	平成 25 年 5 月 2 日～5 月 17 日	1
	北海道釧路湖陵高等学校	理科	平成 25 年 5 月 7 日～5 月 28 日	1
	北海道穂別高等学校	数学	平成 25 年 5 月 11 日～5 月 24 日	1
	北海道深川西高等学校	数学	平成 25 年 5 月 20 日～5 月 31 日	1
	北海道苫小牧工業高等学校	理科	平成 25 年 5 月 27 日～6 月 7 日	1
	苫小牧市立啓明中学校	数学	平成 25 年 6 月 4 日～6 月 21 日	1
	北海道札幌白石高等学校	数学、理科	平成 25 年 6 月 10 日～6 月 21 日	2
	札幌第一高等学校	理科	平成 25 年 6 月 10 日～6 月 21 日	1
	北海道札幌英藍高等学校	理科	平成 25 年 6 月 10 日～6 月 21 日	1
	北海道滝川高等学校	理科	平成 25 年 6 月 14 日～6 月 27 日	1
	北海学園札幌高等学校	数学	平成 25 年 6 月 17 日～7 月 5 日	1
	北海道士別翔雲高等学校	理科	平成 25 年 9 月 24 日～10 月 4 日	1
平成 26 年 度	北海道札幌月寒高等学校	数学	平成 26 年 5 月 7 日～5 月 20 日	1
	帯広大谷高等学校	数学	平成 26 年 5 月 7 日～5 月 20 日	1
	北海道千歳北陽高等学校	理科	平成 26 年 5 月 19 日～5 月 30 日	1
	安平町立追分中学校	数学	平成 26 年 5 月 19 日～6 月 6 日	1
	室蘭市立東明中学校	数学	平成 26 年 6 月 2 日～6 月 20 日	1
	北海道苫小牧南高等学校	理科	平成 26 年 6 月 6 日～6 月 19 日	1
	北海道札幌白石高等学校	数学	平成 26 年 6 月 9 日～6 月 20 日	1
	藤女子高等学校	理科	平成 26 年 6 月 9 日～6 月 20 日	1
	札幌光星高等学校	理科	平成 26 年 6 月 9 日～6 月 21 日	1
	札幌第一高等学校	理科	平成 26 年 6 月 9 日～6 月 21 日	1
	北海道浜頓別高等学校	数学	平成 26 年 6 月 9 日～6 月 27 日	1
	北海道滝川高等学校	理科	平成 26 年 6 月 13 日～6 月 26 日	1
	北海道札幌平岸高等学校	理科	平成 26 年 6 月 16 日～6 月 27 日	1
	北海道石狩翔陽高等学校	理科	平成 26 年 6 月 16 日～6 月 27 日	1
	札幌日本大学高等学校	数学	平成 26 年 6 月 16 日～7 月 4 日	1
	滝川市立江部乙中学校	数学	平成 26 年 8 月 19 日～9 月 8 日	1
	札幌市立北栄中学校	数学	平成 26 年 8 月 25 日～9 月 12 日	1

4. 教職課程

	札幌市立八軒中学校	数学	平成 26 年 8 月 25 日～9 月 12 日	1
	札幌北斗高等学校	理科	平成 26 年 9 月 29 日～10 月 10 日	1
	北海道札幌丘珠高等学校	数学	平成 26 年 10 月 1 日～10 月 21 日	1
	北海道恵庭北高等学校	数学	平成 26 年 10 月 3 日～10 月 24 日	1
	帯広市立第八中学校	数学	平成 26 年 10 月 27 日～11 月 14 日	1
平成 27 年 度	北海道札幌藻岩高等学校	理科	平成 27 年 5 月 1 日～5 月 20 日	1
	札幌市立北栄中学校	数学	平成 27 年 5 月 25 日～6 月 12 日	1
	北海道札幌稲雲高等学校	数学	平成 27 年 6 月 8 日～6 月 26 日	1
	北海道天塩高等学校	数学	平成 27 年 6 月 8 日～6 月 26 日	1
	札幌光星高等学校	数学	平成 27 年 6 月 8 日～6 月 27 日	1
	千歳市立勇舞中学校	数学	平成 27 年 8 月 20 日～9 月 11 日	1
	北海道恵庭北高等学校	数学	平成 27 年 10 月 5 日～10 月 23 日	1

4.4.2 介護等体験

義務教育の教育職員免許状取得を希望する場合、特別支援学校 2 日間、社会福祉施設に連続する 5 日間の計 7 日間の介護等体験実習が必要であり、平成 25 年度、26 年度、27 年度の実績は次のとおりです。

年度	特別支援学校	期間	人数	社会福祉施設 (所在地)	人数
平成 25 年 度	北海道白樺高等養護学校	平成 25 年 11 月 8 日 9 日	3	苫小牧市	1
				千歳市	2
平成 26 年 度	北海道千歳高等支援学校	平成 26 年 6 月 4 日 5 日、 平成 26 年 10 月 4 日 ～8 日	10	札幌市	3
				千歳市	5
				安平町	1
				室蘭市	1
平成 27 年 度	北海道千歳高等支援学校	平成 27 年 6 月 9 日 10 日、 平成 27 年 10 月 7 日 8 日	7	札幌市	4
				千歳市	2
				恵庭市	1

4.4.3 教育実習協議会

教育実習協議会は、教育実習受入校、地元教育委員会等との意見交換を行うことを目的として開催しました。当協議会では、本学教職課程の実施報告や教育実習を終了した学生のアンケート結果及び教育実習報告を行い、教育実習受入各校からは、教育実習を行った本学学生についての状況報告や本学実習生以外に関する教育実習生の現状等についても報告され、本学教員との活発な意見交換が行われました。

平成 27 年度は 10 月 30 日（金）15 時から本学にて開催しました。実習校および千歳市教育

委員会からの参加者は6名、本学の出席者9名でした。

(本学の出席者)

川瀬学長、川辺学部長、山中学科長、福田大学教育センター長、青塚教授(教職課程主任)、今井教授(教職課程専任教員)、表事務局長、木村学生支援課長、仲俣学生支援課教務係長

4.5 教職課程の特色ある取り組み

本学の教員養成の理念として「自ら成長するプロ教員」の養成を掲げ実践しています。また、とりわけ授業の幅を広げられる「ICT活用」が出来る教員養成を行っており、また、資質向上を目的として「プレ教育実習」を実施しています。プレ教育実習の実施内容は次のとおりです。

(1) 学内体験実習〈4年生〉… 必須

「TA (Teaching Assistant) 実習研修」に5日間以上の参加を義務づけ、特に1年生の科目である「数学」や「総合科学A・B」を中心に簡易的な作業から正式なTAと同じ業務を行っています。この実習は教育実習を行う学生全員に課しており、参加する学生の能力に合わせた内容にて実施しています。(報告書の提出あり)

また、学内体制として、多くの教員の協力の下に実施されています。この研修は、平成25(2013)年度から開始し、2年目を終えたところですが、改善を加えて次年度に繋ぐ計画です。

(2) 学外体験実習〈その1〉… 必須

千歳市内の小中学校に出向き「学習ボランティア」に参加することにより実施しています。本実習は、千歳市教育委員会と本学との連携事業として平成24(2012)年度冬季休業からスタートしました。学生の派遣は、千歳市教育委員会からの依頼に基づき、下記のように各学校に教職履修学生を派遣しています。

- ①長期休業中の学習支援体制を構築するもので、児童生徒にきめ細かい指導を通して学習の躓き解消や学習意欲の向上、学習習慣の形成など「学力向上に資すること」を目的としています
- ②ボランティア参加学生は、教育委員会主催の「事前研修」を受講します。
- ③長期休業中(2日～5日程度)に、毎日午前中に支援を行います。
- ④派遣学校は市内27の小中学校対象ですが、要請学校は平均15校程度あります。
- ⑤学生は、1年生の冬季休業中から4年生の夏季休業中の6回を体験することが必須となっています。

(3) 学外体験実習〈その2〉… 希望制

「学校インターンシップ」(3年生キャリアプログラムに位置付)は希望制となっており、平成24(2012)年度から開始しました。体験期間は夏季休業中の1～2週間程度で、派遣先は「千歳市内の小中学校」及び高大連携校である「旭川実業高等学校」です。参加学生は、年度により違いはありますが10人程度となっています。また、千歳

市内の小中学校では、北海道教育大学の学生が教育実習として参加している期間でもあるため、学生も授業実践をさせてもらっており、貴重な体験となっています。

(4) 学外体験実習〈その3〉 … 希望制

地域の高等学校に出向いて、「学習支援ボランティア」として、高校生の補習授業に教員の補助者として参加する内容で実施しています。(希望制)

【派遣実績】

- ①北海道千歳高等学校定時制課程の1・2年生の「数学の学習ボランティア」であり、毎週1回2時間、授業の中でプロ教師のサポートを実施しています。
- ②北海道千歳北陽高等学校1・2年生の「基礎学力補習」に「学習ボランティア」として参加し、年間に4期実施し、各期5回程度「数学」「英語」「理科」の補習に教員のサポートとして参加しています。

※派遣実績各期4人程度

(5) 学外体験実習〈その4〉 … 希望制

提携プロ教師に必要な「研究と修養」の実態を体験させる機会として、プロ教師が研究している研究会へ参加させています。具体的には、北海道数学研究会、北海道高等学校理科研究会へ3・4年生を派遣することにより、現場研修を積ませ教員として資質向上に努めています。